

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

総合計画

【荒川地区】

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名	
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	4	地域医療体制の充実			
推進手法		安心できる地域医療体制の構築を目指し、関係機関と検討を進めま す。				医師の確保、診療内容の充実、特に坂町病院産婦人科の医師確保と充実 を図ること。 坂町病院の病児保育施設構想を全面的に支援してほしい。 病院内薬局の再開はできないのか。	荒川	
担当課	保健医療課							
内部評価及 び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施							
	休日に加え平日夜間の診療を開始(平成23年6月から)したことにより、患者数 が増え利便性が高まった。							
現状と課題	医師会の協力を得て運営しているが、全体的な高齢化に伴う当番医師の確保 が懸念されるとともに、診療スペース、設備等の環境整備を図り、診療内容の 充実を図ることが必要である。							
政 策	3	高齢者支援の充実	施 策	2	高齢者の社会参加の促進	地区	委員氏名	
推進手法		高齢者自身が福祉サービスの提供者となりえるよう、活動団体への 支援やボランティア参加促進のための情報の提供に努めます。				老人クラブが消滅の危機にあると思われる。 早急な支援策の提供等が必要と考える。	荒川	
担当課	介護高齢課・関係各課							
内部評価及 び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施							
	単位老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し補助金を交付し、地域活動への 支援、リーダー研修や健康づくり事業などへ支援し、地区老連や連合会で研修 会等を実施している。							
現状と課題	老人クラブへの加入者が減少傾向にある。60歳代は就労している方が多く、 「若手」の加入者が寡少であり、早急に加入促進策を検討する必要がある。							

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名	
政 策	3	高齢者支援の充実	施 策	5	介護保険事業の安定運営		
推進手法	高齢者が要介護となった場合に必要なサービスが受けられるよう、相談体制やサービスの提供体制を整備し、介護予防事業、権利擁護事業や虐待防止など地域支援事業等の充実を図ります。		2015年度予算で介護報酬が前回に引き続いて2.27%引き下げられそうである。介護職員の待遇に一定の配慮はされている（月1万2千円増）ようだが、全体のサービス低下につながり、労働強化や臨時職員の増加など、さらに介護職員の負担が増えるのではないかと懸念されている。（市としてどこまで係わるのか、わからないが）		荒川		
担当課	介護高齢課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施		地域包括支援センター業務の周知を市報や各種事業で周知した結果、相談件数も増え介護サービスなどの支援に繋がった。また権利擁護事業や虐待防止などについては各種関係機関と連携を図り、早期のうちに相談や支援を行なうことが出来た。				
現状と課題	複雑な問題を抱えた高齢者が多く、解決までに時間がかかる。問題になる前に早期に対応するため、高齢者の実態把握訪問に力を入れたいが訪問件数にも限界があり、体制整備が急がれる。						
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	1	総合的な子育て支援策の推進	地区	委員氏名
推進手法	次世代育成支援行動計画（後期計画）を策定し、子どもたちの健全育成施策の推進を図ります。		「子ども・子育て支援事業計画」は策定できたか。各施策についても具体的な対応策を急ぐ必要がある。少子化対策のひとつでもある。		荒川		
担当課	福祉課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施		ファミリー・サポート・センターを開設し、地域で子育てを支援する体制を整備した。平成25年9月1日から、子ども医療費助成の対象を、全ての世帯に対し中学生まで拡大し、子育て家庭の経済負担軽減を図った。				
現状と課題	平成26年度内に、新制度に基づき「村上市子ども・子育て支援事業計画」を策定する予定であり、子ども・子育て支援法の法定13事業のほか、次世代育成支援行動計画の各施策を推進していく必要がある。						

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	5	要保護児童対策の充実		
推進手法		子どもたちが安全で遊べる場所の確保のため、児童遊園施設整備に対する支援を行います。				子どもと高齢者が、互いに集える遊園施設整備を望む声が多い。	荒川
担当課	福祉課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	簡易水泳プールを有する区に対しては、維持費の軽減を図り児童の安全な遊び場を提供しているが、遊具設置については申請件数が少ない。						
現状と課題	遊具の新設については補助制度の研究が必要なほか、児童遊園施設の拠点化を望む声もあることから、方向性の検討が必要となる。						
政 策	7	平等社会の推進	施 策	3	人権推進施策の充実	地区	委員氏名
推進手法		すべての市民が人権を尊重し、心豊かな郷土を築いていくため、まちづくり基本条例を制定し、市民相互や行政の責務を明確にするとともに各種施策を推進します。				日本の子どもの貧困率は、先進20ヶ国中悪い方から4番目で16.3%（2012年）に達するという（新潟県は13%）。「子どもの貧困対策法」に基づき「子どもの貧困対策大綱」が重点施策として示されたが、市でも「子どもの貧困について」多方面な実態調査をして、早急に対応を考えなければならないのではないかと。	荒川
担当課	政策推進課・関係各課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	平成26年度に（仮）村上市まちづくり基本条例を制定したが、市民への周知については未実施。						
現状と課題	市民や行政内部に対し、様々な場面で周知することで実効性の確保を図ることが必要である。						

基本目標2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり						地区	委員氏名
政 策	4	汚水処理対策の推進	施 策	3	浄化槽の普及促進		
推進手法		下水道整備予定区域外の地域において、汚水処理対策としての合併処理浄化槽の普及を促進します。			中小河川沿線の事業所、飲食業等の普及促進策が必要と考える。	荒川	
担当課	環境課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	設置に関する補助を継続的に実施したほか、新たに合併浄化槽維持管理助成金交付要綱を制定し、平成26年度より助成を開始した。						
現状と課題	住宅以外の集会施設への補助要望もあり、制度改正の検討が必要である。						
基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政 策	2	林業の振興	施 策	1	総合的な林業振興の推進		
推進手法		森林組合の体質強化や労働環境の改善、林業者の定住化の促進、森づくり等への住民参加による林業担い手の育成支援と組織の強化を図ります。			森林組合の体質強化や労働環境の改善について、具体的な方策として、今後は林業の中核である森林組合の広域合併による経営基盤強化に取り組むことが重要であると思います。	荒川	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	国の各種交付金制度を活用し、林業者の定住と林業担い手の育成、林業事業体の経営基盤強化、住民参加型の森林ボランティア活動の活性化に取り組んだ。						
現状と課題	林業者の定住化面での成果が乏しかったことから、更に強化する必要があるとともに、「森林経営計画」策定区域の地区間の偏りの解消する必要がある。また、森林ボランティア活動については、実施主体の組織化が重要である。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり					地区	委員氏名
政策	2	林業の振興	施策	1		
推進手法		豊かな森林資源の保護と、森林の持つ公益的機能の周知を図るとともに、人と森林のふれあいの場の整備・活用を推進します。			現状と課題 防除対策が必要である。	荒川
担当課	農林水産課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	林業振興祭や地域や学校における林業教室や木工教室等の定期的な開催により、森林教育の充実を図った。また、安全かつ容易に森林の癒し効果が体験できるよう、森林公園の維持管理に努めた。					
現状と課題	森林公園の林内整備の滞りと施設の老朽化により魅力が低下しており、整備手法、財源確保、体制づくりの検討が必要である。また、森林公園内においても松くい虫被害が拡大しており防除対策が必要がある。					
推進手法		村上市産材利用住宅等建築奨励事業等の推進により市産材の需要拡大を図ります。			県内で生産される木材の40%以上は村上市と関川村で生産されていることから、これからは地元での消費もさることながら、県内外への販売力を強化する必要があると思います。そのための助成を検討していただきたい。 (例) 主伐に対する助成・運搬経費助成等	荒川
担当課	農林水産課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	「村上市産材利用住宅等建築奨励事業」は合併当初から運用され、必要の都度制度の改正を行い、平成25年度は申請額、申請件数とも過去最高に達した。申請者(施主)や工務店の事業に対する理解が浸透し、市産材の利用推進が図られた。					
現状と課題	平成25年度の増税特需以降のリバウンドが懸念されるため、新設住宅着工戸数等の今後の動向について注視する必要がある。					

基本目標4 安全で快適な住みよいまちづくり					地区	委員氏名	
政 策	6	良好なまちづくりの推進	施 策	2	良好な市街地の形成		
推進手法	整備中の都市計画道路の事業促進、都市計画道路全体の見直しを行います。			早急な都市計画道路の整備を期待する。		荒川	
担当課	都市整備課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			都市計画マスタープランの交通体系の方針に基づき、荒川地域については変更及び廃止箇所について都市計画決定権者である新潟県と協議済みである。村上地域については、沿線住民に対し説明会や意見交換会を開催し見直しを実施している。			
現状と課題	現計画での整備要望をしてきた沿線住民との合意形成について、歴史まちづくり法等を活用した手法の研究を進める。						
基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名	
政 策	1	学校教育の充実	施 策	1	「郷育のまち・村上」の推進		
推進手法	「地域の子どもを地域みんなで育てる」を実現するため、郷育会議が中心となり、学校と地域が一体となった取り組みを推進します。			「地域の子どもを地域みんなで育てる」を実現するため郷育会議が中心となり、とあるが、他にも育成会議やまちづくり協議会など同じような理念を掲げる団体が複数ある。同じ人が役員になっていることも多くある。しかしながら目指すところは同じであるのに交流が全くない。交流し協力体制が整えば人材的にも金銭的にも各団体の活動が向上すると思われる。既存する団体を把握し、地域の宝である子どもたちのために各団体が協力できるような場を設けてほしい。		荒川	
担当課	学校教育課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			市内8中学校区で立ち上げた郷育会議を中心に、学校支援地域本部事業等を通じ、地域住民のボランティアによる学校支援活動を推進するとともに、家庭・地域・学校の三者の連携による地域ぐるみで子どもを育てる体制の構築に向けた取り組みを行った。			
現状と課題	ボランティア活動やオープンセッション等を通して、行政機関や団体・NPO等の連携が高まりつつある。今後も、地域コーディネーターの役割や教員の意識向上を図るとともに、学校支援活動の強化と関係者の意識啓発が必要である。						

基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	学校教育の充実	施 策	1	「郷育のまち・村上」の推進		
推進手法		将来を担う人材を育成するため、高等教育を望む市民への経済的支援を図る奨学金制度を実施します。				荒川	
担当課	学校教育課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 大学・短大・専門学校に通学する学生に、最短修業年限の終期までとして月額7・5・3万円を貸与し、経済的支援を図った						
現状と課題	貸付件数の増加に伴い、今後返還に関する事務が増加するため、事務体制の強化が必要となる。						
政 策	1	学校教育の充実	施 策	3	安全で豊かな教育環境づくりの推進	地区	委員氏名
推進手法		通学時の安全確保を図るために、スクールバスの運行やスクールガードリーダーを中心とした見守りボランティア体制の整備を推進します。				荒川	
担当課	学校教育課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 スクールバスを運行し、特に冬期間の通学時の安全確保を図るとともに、スクールガードリーダーを配置し、地域・保護者等による見守りボランティアと一体となった活動を実施した。						
現状と課題	引き続き効率的なスクールバスの運行に努めるとともに、スクールガードリーダーの配置を含めた体制づくりの検討が必要である。						

基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名	
政策	2	生涯学習の充実	施策	1			総合的生涯学習の推進
推進手法	「市生涯学習推進計画」を策定し、生涯にわたり、いつでも・どこでも・誰もが学べるような学習機会を提供します。		推進手法では生涯にわたり、いつでも・どこでも・誰もが学べるような学習機会を提供しますとあり、市民講座、出前講座、各種講座、講演会などの実施とあるが、これは主として旧村上市地区のことではないか。荒川でも様々な催事が行われているが旧村上市地区との差は否めない。荒川地区公民館は人員が削減されていることも大きいと思われる。旧村上市地区に中央公民館があるのはわかるが、生涯にわたり、いつでもどこでも誰もが、としているのであれば、各地区公民館の職員数も含め再考していただきたい。			荒川	
担当課	生涯学習課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施	村上市生涯学習推進計画に基づき、現代的課題をテーマにした市民講座や、むらかみ出前講座、大学連携事業など各種講座、講演会など実施した。					
現状と課題	第一次村上市生涯学習推進計画の前期評価を反映した後期実施計画(平成26年度～平成29年度)に基づき、引き続き学習機会の提供を図って行く必要がある。						
政策	3	文化・芸術の振興	施策	1	多彩な文化活動の推進	地区	委員氏名
推進手法	文化芸術や伝統芸能および文化財保存団体等による自主的な活動を支援しながら発表の機会を設け地域文化の創造伝承を推進します。		(荒川地区文化協会の代表として)地域の文化芸能団体の事業に対する補助金の支給には感謝しているが、事業費の1/3助成は厳しい。平成21年12月11日教育委員会告示第13号「村上市文化芸術事業補助金交付要綱」を第6条-2項に基づいて見直し、増額していただけないものか。(各地区文化協会とも、同様の想いを持っていると思う)			荒川	
担当課	生涯学習課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施	市文化財保存事業補助金による支援や文化庁補助事業のふるさと文化再興事業による支援を実施したほか、文化芸術や伝統芸能団体の発表機会を設け創作意欲の向上や伝統文化の継承の支援を行った。					
現状と課題	文化芸術、伝統芸能団体とも若者層の構成員が少なく、後継者育成と継承が課題である。伝統芸能団体で所有する用具や設備の修理費用が負担となっており、継続して支援する必要がある。						

基本目標 6 簡素で効率の良い行政経営					地区	委員氏名
政策	1	組織・職員改革	施策	2		
推進手法		職員定員適正化計画を策定し、その計画に基づき職員数の削減を進め、人件費の抑制に努めます。			<p>職員数を削減し、人件費を抑制したことによる弊害があまりに大きいのではないかと。この政策に対する市民へのデメリットが周知されていない。</p> <p>村上市の合併は吸収合併ではなく、対等合併だったように思うが、各支所の職員が減らされ、本庁にまとめられたことで、支所職員の兼務による業務負担割合が大きく、各地区の市民サービスの低下の声がでるのは当然の結果であると思う。しかしながらそれに対する対策が不十分であるように思われる。</p> <p>P76の政策が挙げられているが、これは職員の資質や能力の話だけではない。そもそも各地区支所を作るのであれば村上市役所を本庁として別に、村上支所があってもよいのではないかと。合併によって旧村上地区だけが特化するのをおかしいし、納得できかねる。業務の効率化があったとしても、今の各地区の支所に対する職員配置は最低限の域を超えているのではないかと。思う。</p> <p>職員の負担増が職員の身体的、精神的負担となり、それが市民へのサービス低下にもつながることは当然といてよいと思う。「はじめに人ありき」である。それは市民ももちろんそうであるし、職員もそうである。人件費のための安易な職員削減は村上市の職員の資質、能力の低下につながり、職員の質が落ちれば市政が成り立たない。質の低い市には集まらないし、人が集まらなければ、未来ある村上市にはつながらない。市民の高齢化によると村上市から他市町村へ人が流れることで限界集落が増加し、それに伴う様々な諸問題が出てきている今この政策の考え方自体に疑問を抱かざるを得ない。村上市に輝かしい未来があると、そのために総合計画について議論する機会を設けているのであれば、何のために合併したのか。吸収合併だったのか対等合併だったのか。職員の配置も旧村上に集めるだけでいいのか。原点に立ち返り再考いただきたい。</p>	荒川
担当課	総務課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	平成25年2月に職員定員適正化計画(後期計画)の策定し着実に削減しており、早期退職者があったため、職員数は計画よりも6人減員で推移している。					
推進手法		職員数・職員給与は、市民サービスとも密着に関係してくるため、事務事業改革などとともに検証を行います。				
担当課	総務課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	職員数は職員定員適正化計画に基づき、市民サービスに影響の無いよう組織再編の中で実施してきた。職員給与については、国の人事院勧告、県の人事委員会勧告に準じ支給している。					
現状と課題	県の最低賃金額の見直しがあり、臨時職員の事務補助賃金単価の見直しが必要と思われる。					

基本目標6 簡素で効率の良い行政経営					地区	委員氏名
政策	3	行政サービス改革	施策	1		
推進手法		市全体の基準となる「接遇マニュアル」を作成し、全職員に徹底させるとともに、役職に応じた職員研修を行い、職員一人ひとりの能力の向上と意識改革を図ります。			地域の民間窓口の接遇は、好感が持てる。職員部門毎の接遇向上策が必要と考える。	荒川
担当課	総務課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	「接遇マニュアル」の作成を進めるとともに、職員研修等で周知・徹底を図る必要がある。					

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

アクションプラン

【荒川地区】

産業元気プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(4) 幹線交通網の整備促進			
施策の方向性	交通需要に対応した広域幹線道路や、地域幹線道路等の整備を行う必要があります。	荒川地区南中央線については、当局の適切な指導、地域諸団体等地元との緊密な連携、総合力により、事業決定されたものと認識している。	荒川	
担当課	都市整備課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 長期未着手の都市計画道路については、地元との合意形成に時間を要し、一部路線では前進が見られた。(荒川地区南中央線については事業化が決定)			
現状と課題	他計画の策定に合わせ事業化する必要がある路線については、住民合意を優先に計画を推進していく必要がある。			
健やか・子育て支援プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(2) 地域医療体制の整備			
施策の方向性	県立坂町病院の医療体制整備に向けた要望活動を強化する必要があります。	医師の確保、特に産婦人科医師の確保と医療体制の充実に努めて頂きたい。 病児保育施設構想実現のために、さらに努力して頂きたい。 将来の医師養成 医学生への奨学制度を考えて頂きたい。	荒川	
担当課	保健医療課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 地域住民が参加する促進大会や協議会役員で県知事へ要望活動を実施し、平成25年度には医師1名の増員を確保した。さらに、県立新発田病院との連携により入院患者の転院など充実した医療体制の確保に努めてきた。			
現状と課題	医師不足が深刻となっており、これらの解消のため、一刻も早い医療体制の改善と整形外科医師の確保が喫緊の課題である。			

健やか・子育て支援プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(3) 子育て環境の整備		
施策の方向性	子育て世代への経済的支援として医療費助成制度を継続するとともに、県助成制度の動向を見ながら、拡大について検討する必要があります。	荒川	
担当課	福祉課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 子どもの医療費助成適用年齢を、平成25年9月1日から更に引き上げ、全ての世帯において中学校卒業までとし、子育て家庭の経済負担軽減を図った。		
現状と課題	県下の状況は、対象年齢の引き上げや一部負担金の補助などによる過度なサービス競争の体を成しているため、県支援の充実により市町村間の格差を解消すべきと各方面から要望しているが実現されない現状である。		
人づくりプロジェクト			
施策区分	(3) 生涯スポーツの推進	地区	委員氏名
施策の方向性	市民の健康、体力づくりを推進するため、ライフステージに応じてスポーツ活動が実施できるよう、スポーツ環境の整備・充実が必要となります。	荒川	
担当課	生涯学習課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 国体開催を契機に施設を整備したほか、荒川テニスコートの拡張及び人工芝張り替え工事等を実施した。また、各体育館のトイレを洋式化し利用環境の改善を図った。	荒川	
現状と課題	老朽化した施設が多いため、多様性、利用率、地域バランス等を考慮の上、計画的に施設整備を実施する必要がある。		
			<p>荒川テニスコートについては、コート増設整備により、県内外プレーヤー等から、施設及び周辺環境に対する賞賛が多い。</p> <p>要望 荒川総合体育館の用具室に山ほどある、古くて使えない用具を処分し、使える物は修理、購入し使いやすい施設にしていきたい。 村上市には県や全国レベルの大会を開催できる体育館がありません。(ギャラリー、駐車場) これらの大会を開催することは市のイメージアップ並びに観光や産業面でもメリットがあると思うので、そういう体育館の建設を要望いたします。</p>

人づくりプロジェクト				地区	委員氏名
施策区分	(3) 生涯スポーツの推進			荒川	
施策の方向性	スポーツ実施率向上や活動の継続化・日常化を向上させるため、総合型地域スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団等の推進団体や地域のスポーツリーダーの活動を支援していく仕組みづくりが必要です。			荒川	
担当課	生涯学習課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 各地域の総合型地域スポーツクラブ、地域スポーツ組織、各種団体の活動を支援し、団体の育成を図った。				
現状と課題	各スポーツ推進組織とも安定した運営に至っていない現状であり、財政的な支援に限界があることから、新たな支援策を模索する必要がある。				
施策区分	(4) 文化・芸術の推進			地区	委員氏名
施策の方向性	多彩な地域文化を育成・継承するため活動団体への支援を強化していく必要があります。			荒川	
担当課	生涯学習課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 文化庁補助事業である文化遺産を活かした地域活性化事業および伝統文化子供教室事業について、周知や募集、申請等補助金交付手続きを行い事業採択を受け、伝統芸能や伝統行事の活動団体を支援することが出来た。				
現状と課題	伝統芸能や伝統行事保持団体の活動に必要な用具や設備の修理等に対して、補助金等による資金面での支援が必要である。				

意見集約

# 第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

計画未計上分

【荒川地区】

施策の内容	現状・理由等	地区	委員氏名
<p>地区文化協会の存在と活動を文化行政の立場で見直し、支援してほしい</p>	<p>「文芸むらかみ」の発行、市美術展や市全体の音楽会・芸能祭の実施は村上市における文化や芸術の振興に大きく貢献していることはいうまでもないことです。しかし同時に、各地域でささやかに文化活動を営んでいる庶民がいることを忘れないでほしいと思います。地域に根ざした小さな文化活動が今、都会集中化による過疎化現象さらには少子化の中で廃れようとしています。</p> <p>旧市町村時代に生まれた各地区文化協会は、これまでそうした文化活動を掘り起し、育てる役目をしてきました。例えば、各地区ごとに独自につくってきた「文芸」など、ふり返ってみれば、地域に誰に遠慮もなく気楽に投稿できる冊子があったから、鉛筆をにぎりしめて文を書いたり、グループをつくって俳句や短歌を勉強して寄稿したりしていました。「文芸むらかみ」は前述もしたように地域に貢献するところ大なのですが、やっぱり一般の庶民にしてみればそう気楽に投稿できるようなものではありません。身近なところに寄稿できる文芸誌を失って、鉛筆を持たなくなった人が何人もいます。</p> <p>荒川地区では、文化協会の事業として「文芸愛好会」を新たに組織し、予算もないのでまったくの手作りですが、ようやく「地域の文芸誌」と銘打って、昨年「あすなろ」創刊号を発行しました。まったくの手作りの40ページの小冊子ですが、再び鉛筆をもって寄稿してくださる方がいて、ささやかに火が灯りはじめました。今第2号の編集集中ですが、さらに寄稿者が増えました。</p> <p>各地区の文化協会は、そうやって地域の文化活動の振興に極めて地味ですが尽くしています。地域の文化を掘り起し育てるという立場で、文化行政として各地域の文化・芸能団体への支援をお願いします。</p>	<p>荒川</p>	
<p>子育て支援充実</p>	<p>子育て支援の中でも、病児及び病後児保育制度の確立が重要と思われるが施策として示されていないが如何に。</p>	<p>荒川</p>	

施策の内容	現状・理由等	地区	委員氏名
安全なまちづくりの推進 (総合的な防災対策の推進)	土砂崩壊など危険箇所における災害の未然防止などに対する対応策が示されていない。 震災に伴う、津波の避難に関する対応策(ハード、ソフト)について、もう少し具体策がほしい。	荒川	